



憲法を職場と地域のすみずみに 住民の中へ、住民とともに



「憲法を職場と地域のすみずみに 住民の中へ、住民とともに」をスローガンに掲げ、大阪自治労連第29回定期大会をエルおおさかで9月9日・10日の2日間で開催しました。

大会では、「住民の権利を保障するために自治体労働者の労働条件改善闘争をとりくむ」「憲法に保障された労働者の権利侵害を許さない」「たまたかの基礎となる組織強化・拡大、次世代育成に向け奮闘する」など、代議員から発言が続きました。

運動方針など、提案された全ての議案を満場一致で採択し、「憲法を守るために広範な住民とともにたたかうとともに、地方自治破壊、住民生活破壊、自治体公務公共労働者と労働組合への攻撃を強める維新政治を打破するために総力をあげてたたかう」大会宣言を確認しました。

大阪府職労結成70周年まつり共同実行委員長

うしろ 後呂 美也子さん (守口保健所)

辻 強志さん (四条畷保健所)

11月13日に大阪府職労が、マイドームおおさかで「No Union No Life ~今も未来も輝く社会を~」をメインテーマに、府職労結成70周年まつりを開催します。70周年まつりの実行委員会共同実行委員長を務める後呂美也子さんと辻強志さんにお話を聞きました。



組合員から公募で選ばれたイメージキャラクターの「ろーたす」と「わく」

府職労の運動に納得して加入

府職労とのかかわりについては、二人とも府職労の役員歴が一年目ということに驚きです。

後呂さんは、職場のトラブルを府職労の先輩が声を上げ、職員同士がつながる中で解決した時に「労働組合は大切なんだ」と思い、自ら府職労に加入。その後「都構想」住民投票や戦争法反対の取り組みを通じて、府職労の運動に信頼を寄せて執行委員に。

辻さんは入庁3年目。以前勤めていた民間職場には労働組合がありませんでした。入庁時に、知人の府庁職員から人事評価制度のことを聞いて「チームで行う公務に相対評価はおかしいと思います。一人で『反対』とはなかなか言えないところ、府職労と自分の思いが一致していると思い、迷わず加入しました」。

先輩や仲間がいるから

執行委員会で「まつりの実行委員長をやってほしい」の要請に、辻さんは「これまで府職労の取り

組みに参加して、「若造の話をしっかり聞いてくれる」先輩たちがいる。逆に先輩たちから「辻君らが出てくれて私たちが元気になる」「いろいろな提案してほしい」と言ってもらい、お手伝いができるなら、とその場で返事をしました。と応えると、後呂さんは「辻さんが一緒にやってくれるなら安心なので引き受けました」と明るく話してくれます。そして「まつりの司会も若い組合員が『やってみよう』と手を挙げてくれて、うれしかったです。それは、府職労が若手職員をつどいや若い人が集まる機会を作って、いろいろな意見を受け止めてくれるからだと思います」と、ほほえみながら語り

まつりは住民との共同の場

「どんなまつりにしたいですか?」の問いかけには、「維新政治で府民との間に溝ができてしましました。だからこそ、多くの府民の方に労働組合を知ってもらえる場になれば

と思います。そのためにも、住民の方と作り上げていくまつりにしたいです」と少し照れながら話した後呂さん。辻さんは「府職労の組合員はもろろん、組合に入っていない方も、住民の方にも大勢参加していただければ」と力強く語ります。

そして二人からは「このまつりを機会に、労働組合に入るのが当たり前——一部の人はなく、誰でも役員となるのが普通と感ずる府職労にしていきたい」と、今すぐ決意が語られました。

最後に、大阪自治労連の仲間「まつりの『感動のフィナーレ』は来てのお楽しみですよ。みなさんに参加してもらって成功するまつりですから、ぜひ11月13日には府職労70周年まつりへご参加ください」と笑顔で呼びかけました。

住民と一緒につくる「まつり」

